

第3回 道路のA I活用検討会 議事要旨

1. 日時；令和3年12月15日（水）15：30～16：30
2. 場所；Web 会議（中部地方整備局、中日本高速道路株式会社、三重県）
3. 要旨

【挨拶；三重県水野県土整備部長】

三重県では今年度にA Iカメラを稼働して、コロナ対策などの活用を始めたころである。今後はどのように配備・拡張していくのかを議論したい。

高速道路や直轄国道を含めて、今後、災害や平常時の管理や連携について議論したい。

【意見交換】

○水野県土整備部長

高速道路や直轄国道では既に多くのカメラを設置していると思うが、その設置箇所の考え方や基準があれば教えてほしい、また三重県がこれから拡張していくにあたり、設置した方がよいと思われる箇所があれば教えてほしい。

○松居道路部長

直轄国道では、車の流れを的確に把握できることや異常が検知できることを意識して、これまで異常が発生した箇所や渋滞箇所・緊急輸送道路にカメラを設置しており、三重県が設置予定の箇所と概ね一致していると思う。

必要だがどうしても設置ができず、カバーできない箇所が発生してくると思われる。それについては、道路管理者で設置箇所などを重ねたデータを共有すれば、お互いの危機管理に役立つと思う。

○合田保全・サービス事業部長

高速道路では、主要の渋滞箇所や事故多発箇所、線形の厳しい区間などのリスクの高い箇所などにカメラを設置しており、三重県が設置予定の箇所と概ね一致していると思う。

○水野県土整備部長

高速道路や国道のう回路になっている箇所への設置など、3社がお互いにカバーし合える箇所への設置も検討していけばよいと思う。

○松居道路部長

目指すべきところへの共通認識は大事であると考えており、道路部でも今回の課題認識を共有していく。

○水野県土整備部長

今後、データをどのように活用してまとめていくのかを考えていく必要があり、国で開催している有識者を含めたデータ活用の研究会に協力をお願いしたい。

○松居道路部長

研究会は色々と開催されており、三重県のデータも提示しながら、活用方法を考えていければと思う。

○合田保全・サービス事業部長

高速道路に設置しているＣＣＴＶカメラの利活用の研究会などはないが、ＡＩを活用した異常検知や精度の確認などの研究は行っている。

○松居道路部長

カメラ拡充の予算はどうするのか。

○三重県（事務局）

交付金の活用を予定している。また拡充の中には、民間カメラの活用も検討していく予定である。

○合田保全・サービス事業部長

カメラのデータや渋滞状況が地図上などでまとめられたプラットフォームのような連携できるシステムがあれば、今後の効率的な道路管理につながると感じた。

○松居道路部長

プラットフォームの構築については、非常に重要であり、みんなが共有できるシステムや異なる分野との連携が大切である。

以上